

災害発生時の心得

「むやみに移動を開始せず、
落ち着いた行動を」

大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。

多くの人が一齐に帰宅を始めると、火災や建物からの落下物などにより負傷する恐れがあり危険であるほか、救助・救急活動の妨げとなります。

【むやみに移動を開始しない】

○身の安全を確保し、職場や集客施設等の安全な場所にとどまろう。

○災害用伝言サービスにより、家族の安否などを確かめよう。

○交通情報や被害情報などを入手しよう。

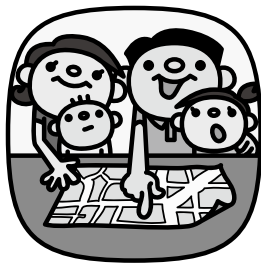
【日ごろから準備しておきたいこと】

○携帯ラジオや地図を持ち歩こう。

○スニーカーや懐中電灯、手

袋、飲料水や食料などを用意しよう。

○家族などと安否確認の方法を、集合場所、帰宅経路の状況を確認しておこう。



【災害時の情報入手方法】

○茂原市防災情報【PC】

<http://www.city.mobara.chiba.jp/category/1-5-20-0.html>

○茂原市ホームページ

○防災行政無線

○テレホンサービス

※防災行政無線の内容を電話で確認できます。

0120(438)119

携帯(有料)からは、
0475(2)7290

○もばら安全安心メール
※詳しくは広報16ページをご覧ください。

○「Lアラート」(災害情報共有システム)

※市からの避難勧告、避難所の開設状況等の緊急情報がテレビ、ラジオ、インターネット等で確認できます。

災害用

伝言ダイヤル

171

災害伝言ダイヤルは、大地震や台風などによる大規模な風水害が発生し、通話がつながりにくくなった場合、伝言を残したり、聞いたりすること

とができるシステムです。災害用伝言ダイヤルは、公衆電話や携帯電話・PHSからも使用可能です。離れた場所にいる家族の連絡方法として活用し、安否確認を取りつつ落ち着いて行動しましょう。

お問い合わせは、
総務課防災対策室(4階)
☎(20)1519、FAX(20)1602へ。

我が家でできる簡単防災チェック

この機会にチェックしてみましょう。また、市では災害時の備蓄食料等の確保に努めていますが、各家庭においても、いざという時のための準備をお願いします。

- 非常食(家族3日分)を備えてある※1
- 飲料水(1人3ℓ・家族3日分)を備えてある※1
- 懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池を用意してある
- 非常用持ち出し袋を用意してある
- 風呂に水をため置きしてある
- 救急医療品を用意してある
- 衣類、下着、毛布などを用意してある
- 冷蔵庫など大型家電や家具の転倒防止をしてある※2
- タンスや本棚の上に重い物を置いていない※2
- ブロック塀や石垣を補強してある
- ガスの元栓や電気のブレーカーの位置を確認してある
- 日頃から地域での活動や人付き合いを大切にしている
- 自宅の耐震性を確認している(昭和56年5月以前の木造住宅の場合は建築士に相談してみましょう。)※3
- 防災マップで各種災害時の行動イメージ等を確認してある

- ※1 市では、ローリングストック法による備蓄を推奨。はじめに、いつもの2倍の食品などを購入。半分の量を使ったら、同じ量を購入し補充する方法。
- ※2 過去の震災では、建物に特別な被害がなくとも、家具の転倒や散乱により逃げおくれたり室内でケガをされたりした方が多数発生しています。
- ※3 市(建築課)では、年5回耐震相談会を開催しています。また、昭和56年5月以前の木造住宅の耐震診断及び耐震改修の補助を行っています。